

社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
「第4次地域福祉活動計画」公募委員

募 集 要 項

参加しませんか？
地域福祉活動計画づくり



天白区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「てんてん」

計画策定期間：平成30年3月～平成31年3月
計画実施機関：平成31年4月～平成36年3月

天白区社会福祉協議会では、第1次地域福祉活動計画「てんてんプラン2004」（平成16～20年度）、第2次計画「てんてんプラン2009」（平成21～25年度）、第3次計画「てんてんプラン2014」（平成26～30年度）に基づいて、「住みつづけたいまち天白」を目指し、各種の地域福祉活動を実施してきました。

この間福祉を取り巻く社会情勢はめまぐるしく変化し、例えば認知症高齢者や孤立死の増加、児童虐待等、様々な福祉の課題が発生しています。

このような多様化する地域の福祉課題に対応するため、平成31年度から5年間にわたる「第4次地域福祉活動計画」を住民や福祉関係者の皆様とともに策定し、地域福祉活動の計画的推進を目指していきます。

この計画の策定段階ならびに実施段階において、住民や福祉関係者の立場で、ご協力いただける方を募集します。

【申し込み・問い合わせ先】

社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会

〒468-0015 天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階

TEL 809-5550 FAX 809-5551 担当/鈴木

1 計画の策定期間

平成30年3月～平成31年3月（予定）

（※計画の策定にかかる会議は、主に平日の昼間に開催します。月に1回程度の開催を予定しています。）

2 計画の実施期間

平成31年度～平成35年度の5年間

（※計画の実施期間中は、引き続き計画推進委員として計画の実行に参加いただきます。）

3 策定委員会及び作業部会の位置付け

計画の策定にあたっては、計画案を最終的に決定する「策定委員会」と、現状や課題を把握して、解決策を検討しながら、計画案を作成する「作業部会」を設けます。

策定委員会及び作業部会は、それぞれ本会理事、公募委員等で構成します。

4 応募要件

次の2つの要件を満たす方

- ① 区内にお住まい・お勤め・在学中で、福祉活動に関心のある方、もしくは、区内で福祉活動やボランティア活動等に取り組まれているも方、または、福祉職の方
- ② 計画策定後も計画の推進に関わっていただける方

5 募集人員

数名程度

6 応募方法

次の2点を郵送または持参にて本会あてご提出ください。なお提出された応募用紙並びに作文は返却しません。なお、記入された個人情報、本選考のみに使用いたします。

① 応募用紙（本紙の最終面）

② 作文（800字以内）

テーマ：こんな天白区に住みたい

様式：自由（手書き、パソコン作成いずれでも結構です）

7 募集期間

平成30年1月9日（火）～1月31日（水）必着

8 選考方法

書類審査による1次選考を行ない、選考された方にのみ面接による2次選考を行います。

1次選考の結果は、2月下旬までに応募者全員に通知します。

9 その他

報酬、実費弁償等はありません。



社会福祉協議会とは？



社会福祉協議会（略して「社協【しゃきょう】」と言います）は、地域のみなさんや福祉、保健、医療の関係者、ボランティア、行政機関の協力を得ながら、誰もが安心して暮らせる「福祉のまち」の実現を目指して活動する民間の社会福祉団体です。

民間組織としての「自主性」と、地域のみなさんや社会福祉関係者に支えられた「公共性」を活かしながら、地域福祉の推進に取り組んでいます。

<参考>第3次地域福祉活動計画「てんてんプラン2014」の体系

3つの基本目標と6つの基本計画に基づき、16の実施項目を掲げ推進しています。

基本目標	基本計画	実施項目
I 地域福祉活動の活性化 小地域ごとに福祉ニーズをつかみ、その地域に必要な活動を広げる	1 学区における協議の場の設定と拡充	①地域福祉課題を話し合う機会（協議の場）をつくる
		②学区地域福祉活動計画（目標）をつくる
	2 住民のニーズキャッチ機能と解決の仕組みづくり	③小地域ごとのニーズやつながりの可視化
		④身近な相談（窓口）・解決の仕組みをつくる
	3 地域福祉活動者を増やす	⑤地域福祉に関する定期的な学習会の開催
		⑥活動者の確保を意図した企画・イベントの実施 ⑦活動者を確保するための実践事例の紹介
II ネットワークづくり 施設・団体等と地域の福祉活動者等のネットワークを構築、拡充する	4 施設・団体等と地域の福祉活動者等とのつながりをつくる	⑧各施設・団体等のつながり状況や意識の調査
		⑨社会貢献マップづくり
		⑩地域連携に関する意識啓発
		⑪地域における出会いの場の創出
III 福祉環境づくり 福祉に関心を持つ人を増やし、気軽に活動できる環境をつくる	5 福祉活動に携わる協力者を増やす	⑫ボランティア活動のPR
		⑬ボランティア講座の開催
	6 福祉にふれる機会を増やす	⑭福祉教育の拡充
		⑮福祉イベントの活用
		⑯福祉情報の効果的・効率的な提供
		⑰福祉情報の効果的・効率的な提供